

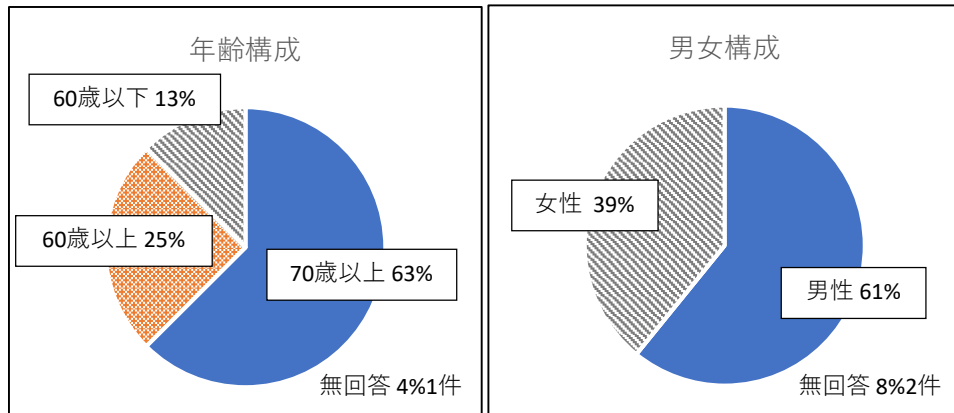
# 2021年満足度調査結果

運営委員会（部長会）

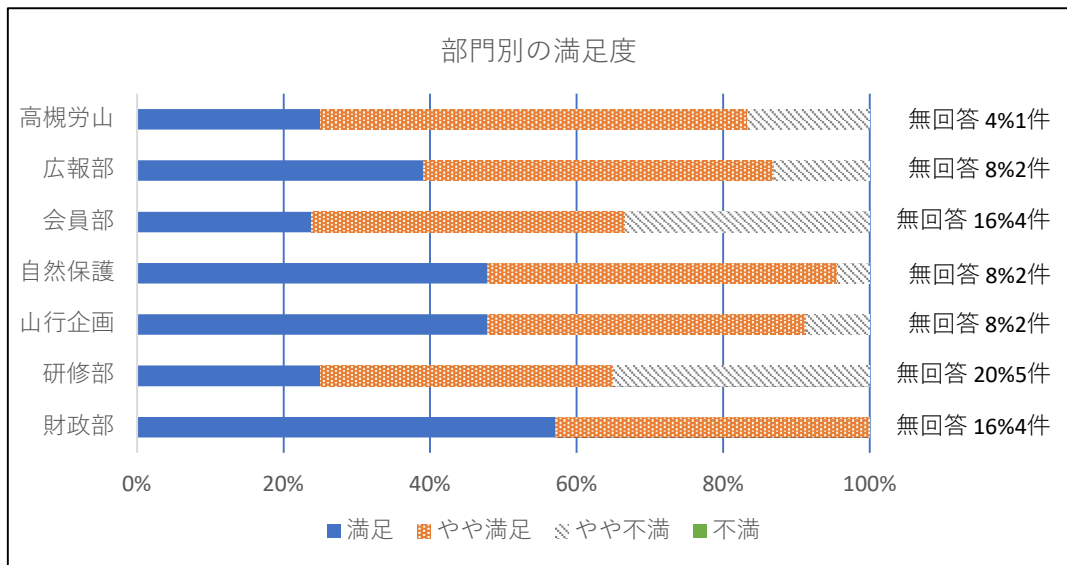
2021.3.30

この度の満足度調査では多くの方々にご協力を頂きありがとうございました。高槻労山もここ何年かの中に、会員の高齢化、減少化、行事遂行力の低下など、組織の存続に関わる岐路に立たされています。この状況下、会員の皆様の願望やご意向を的確に把握させていただくために今回の満足度調査を実施させて頂きました。調査票の回収率は、会員30人に対し25通の83%でした。ここにその結果をご報告させていただきます。

## 1. 会員の構成

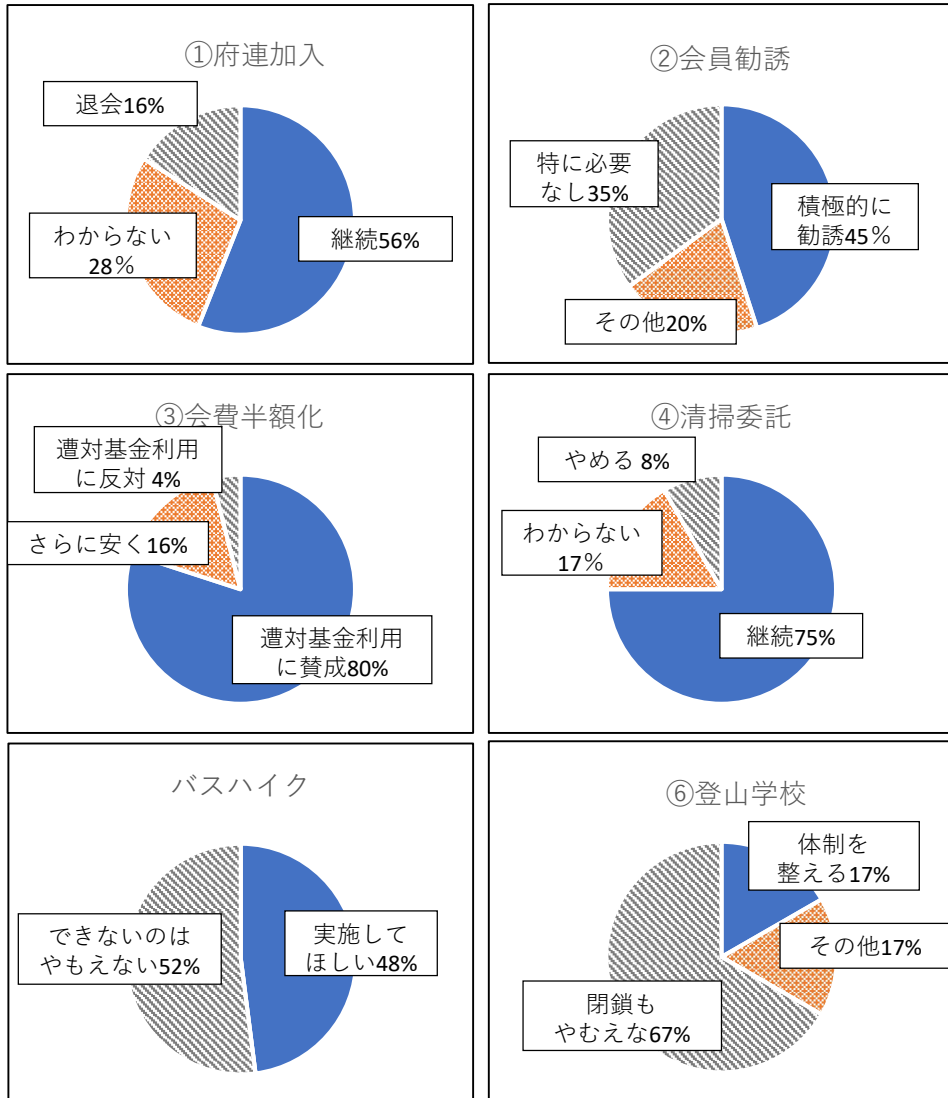


## 2. 満足度



満足度調査では、「満足」評価と「やや満足」評価を加えますと高槻労山および各部門とも概ね高くご評価いただいていると受け止めます。「満足」評価の点で見ますと、広報部、自然保護部、山行企画部、財政部の評価に対し、高槻労山と会員部および研修部の評価に少し見劣りが感じられます。今後の施策としては、全体的には大きく舵を切る必要はないが、会員部と研修部の施策ではある程度の修正が必要かと受け止めます。

## 2. 各施策に対する会員のご意向



「立て直し」か「店じまい」かの大きな論点である府連加入に関しては、加入継続のご意見が過半数を上回りました。労山とのつながりを重視する方が過半数をしめるものの、会員数減少に直面しながらも積極的な会員勧誘を望む人は過半数に満たず、また登山学校の体制を整えることを望む人もごく少数にとどまっていることを見ると、従来の高槻労山の復活の「立て直し」願望は少ないように伺えます。

一方、府連を退会することで経費を浮かせ、さらなる会費低減化と行事の活発化を狙った「店じまい」については、さらなる会費の低減化要望は少ないこと。また清掃委託の継続意向が大半を占めたことより、多くの方の意向とは乖離があったと判断します。

今後の会の運営としては、(1)「立て直し」か「店じまい」の論議は先送りにする。(2)ある程度の会員勧誘策をおこなう。(3)会費半額化および清掃委託については継続させる。(4)バスハイクについては規模を小さくしてでも実施できるようにする。(5)登山学校については当面あきらめ、全員を対象とする研修会のような催しを検討する。という方向で検討させていただきます。

集計表およびご意見集についてはHP上に掲載する予定です。

(補足資料/2021年満足度調査結果)

府連加入に関する考え方違いによる意向分析結果

1. 結果

【分析方法】

「立て直し」か「店じまい」かの大きな論点の一つでもある府連加入に関する考え方の違いにより施策に対する意向の違を分析してみました。層別としては、府連加入継続を望むグループを(1)とし、そうでないグループ、すなわち府連退会を望む人+わからない人のグループを(2)とし、それぞれのグループの意向がどの方向に向いているのかを分析してみました。

【まとめ】

分析1による満足度では、府連加入継続望む(1)のグループの人の方がどちらかというと評価が劣り、高槻労山に満足の割合が(2)のグループの半分なのは以外である。

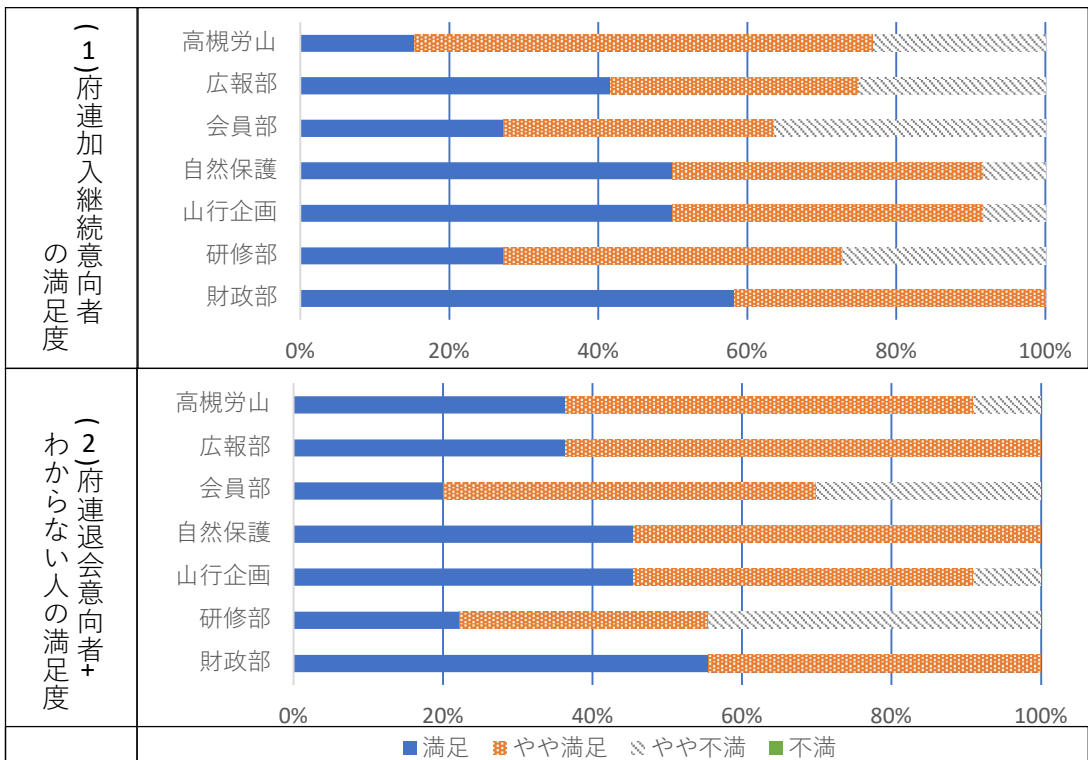
分析2の各施策に対する意向では、②会員勧誘、③会費半額化、④清掃委託では(1)(2)のグループとも同様の意向を持っているといえる。

グループ(1)の人は②会員勧誘意欲もそう高くなく、⑤バスハイクへの願望はあるもの⑥登山学校の執念も高いとは言えず、当初設定していた「立て直し」論とはずれがある。またグループ(2)の人でも③会費をさらに安くすることを望む人も少なく、④清掃委託の継続を望み、⑤バスハイクなどの行事への願望も少なく、こちらも当初設定していた「店じまい」論とのずれがある。「立て直し」か「店じまい」かの論議を続けるには設定を変える必要があり、清掃委託事業がある限りは財政的に繋げられるのでしばらく封印してはと考える。

(分析結果の比率差に関する有意差について)

(1)のグループは14人、(2)のグループは11人です。統計学上はさておき、1人分の出入りで10%以上の数値が動きます。従い10%程の差は誤差と見なしてください。

2. 分析1 各部門に対する満足度



### 3. 分析2 各施策に対する意向

